

道東地域より新年ご挨拶

北海道統括支店 道東支店長 高橋 厚三

新年あけましておめでとうございます。

昨年中は、格別なるご高配とご愛顧を賜りまして心より厚くお礼申し上げます。

また、今年も引き続き変わらぬお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

昨年はTPPの交渉参加問題、度重なる異常気象による被害、生産資材の高騰継続などにより、農業現場においては従来の課題が一層、深刻化された1年となりました。

酪農畜産に影響する海外でのとうもろこしの状況は米国での涼しい夏により単収が上昇し、旧ソ連諸国、EU、中国等でも増加し、世界全体の生産量は消費量を上回り、期末在庫率は上昇致しました。(期末在庫率17.6%前年差1.9ポイント増⇒米農務省11月発表より) それにより下半期の穀物相場は軟調となりましたが、タンパク原料の(大豆粕)高騰、海上運賃の上昇、更には米国の経済状況の回復や金融緩和政策により、為替の円安が促進され、海外の作況が国内飼料価格になかなか反映されにくい状況が続きました。(配合飼料価格は第1四半期値上、第2四半期値上、第3四半期値下1月⇒10月価格差畜種平均+2,674円/t) 上記により、配合飼料の価格安定基金制度による補てん金が1年中発動となりましたが、ご承知の通り安定基金補てん金の財源はすでに枯渇しており、政府及び金融機関からの借り入れにより補てんされております。引き続き飼料メーカーは元より生産者の皆様からの積立金により返済してゆかねばならぬ状況にありますので、生産者の皆様には何卒ご理解をお願いし、配合飼料価格安定基金制度への加入をお願い申し上げます。

◎気象変動による影響

気象においては5月の大雪、その後の異常低温、8月の長雨、9月、10月の台風到来など、道東方面も大変甚大な被害を受けました。

飼料作物ではせっかく育ったとうもろこしが収穫できなかったケースもあり、大変残念な思いをされた方も少なくないと思われます。

また、気になっている事は新物の1番サイレージに切り替わりで、<乳がでない>との声を良く聞きく事

です。(特に根釧方面)

弊社技術推進室の調査では2013年産の1番牧草サイレージは2012年産に比べ、発酵品質は優れるが、栄養価ではCP以外は劣る。特にNFCが劣るとの分析をされており、2012年産のサイレージから単純に置き換えると乳量が落ちる事が予想されます。

についてはサイレージ分析は必ず実施され、栄養価の確認をお勧め致します。また対応策については弊社のもより営業所、もしくは技術推進室に気軽にご相談を頂きたく、お願い申し上げます。

(2013年産の粗飼料の栄養価の傾向と対策については次号3月号掲載予定)

◎飼料作物本格販売品種紹介

・ニューデント85日<ビビアン>本格販売

昨年は十分に種子が供給できずご迷惑をお掛けいたしました。耐倒伏性、すす紋病抵抗性及び根腐病抵抗性に優れ、更に多収品種です。

・チモシー中生の早 アルテミス (SBT0308) 北海道優良品種 本格販売

出穂始の目安(全道平均) 6月19日(キリタツプより6~7日早い中生の早)

収量性が優れ、特に2番草が多収で、斑点病の抵抗性に優れます。2番草の収量性に優れる為、夏季の生育旺盛なアルファルファ<ケレス>など、マメ科牧草との混播に適します。

・チモシー中生 ヘリオス (SBT0310) 北海道優良品種 草地事業限定販売

出穂始の目安(全道平均) 6月22日(キリタツプより3日早い中生)

放牧適正、耐倒伏性、斑点病抵抗性に優れます。各特性がランクアップされたホクエイの後継品種です。

上記3品種の飼料作物が本格販売される為、是非ご利用、ご活用を頂きたくお願い申し上げます。

本年も、農業、酪農、畜産の現場においてより良い商品と情報をお届けする事を基本とし、少しでもお役に立てるように活動して参りますので、皆様からのお問い合わせをお待ちしております。